



## プログラム

1. 広島大学に六か月 ミントウ・スウェ (ビルマ)
2. 私の大家さん オーランド・ジョゼ・ハーガー (ブラジル)
3. 日本での生活はおもしろいです ロサリオ・グティエレス・ラモス (スペイン)
4. 日本とインドネシアの相違 ウミ・チャヒャーニンシヒ・ヘディアント (インドネシア)
5. 日本で六か月生活して フランス・カワラ・シムワンザ (ザンビア)
6. 日本語は面白いです スリョ・ブソノ (インドネシア)
7. さしみとカレー ワンベン・ディースパクン (タイ)
8. 日本人と自然 レイナ・アース・レディー (アメリカ合衆国)
9. 海洋学を勉強するために日本にいます アズミ・ビン・アブドゥール・ラーマン (マレーシア)
10. 私の専門、医学の研究 イエルメラ・ホイティンガ (オランダ)
11. 日本での小さなけいけん エドゥガール・ロベルト・エレラ (グアテマラ)
12. 今までのけいけん スィティ・ハワ・アブドゥール・マジッドゥ (マレーシア)
13. マレーシアで聞いたことと日本で見たこと モハマッド・ナジール・ビン・ドン (マレーシア)

## 原稿集

◎

◆◎にほんじんの めから すれば、おかしな ひょうげんや  
かきかたなども なくは ないのですが、「ウエルダン」に  
すると、「なまの あじ」が そこなわれて しまいますので、  
「ミディアム」ぐらいに なって おります。

ごりかい いただければ さいわいに ぞんじます。

広島大学に六か月

(A) ミントウ・スウエ

私はビルマから来た学生です。名前はミン  
 トウ・スウエです。日本へ来るまえにラング、  
 ーン大学で数学の先生をしていました。私は  
 日本へ数学の勉強をしに来ました。ほかの人  
 たちもみないろいろな国から日本へいろいろ  
 な勉強をしに来ました。私たちの国のぶんか  
 やし<sup>や</sup>うき<sup>よ</sup>うげし<sup>や</sup>うかんがちがいました。  
 私たちは広島大学でおもいがけなく出会い  
 ました。今私たちは日本で日本語を楽しく習  
 っています。  
 日本に着いてちぐは日本語もよくわからな  
 いし、日本のようちもわかりませんでした。  
 はじめ私は日本人と会ってもぜんぜん話せな  
 いし、日本人が話すこときわからませんでした。  
 だから、私たちは日本に住むことはた  
 へんだと思ひました。日本で一番たいせいな  
 ことは日本語ができることだと思ひます。私  
 たちは日本語を習いはじめた時みんな「日本

語はたいへんむづかしい。しと言いました。  
 漢字をおぼえるのはなかなかたいへんでした。  
 しかし、おぼえるとだんだんおもしろくな  
 りました。今私たちは日本語が少し話せるよ  
 うになりました。日本人と会った時も日本語  
 で少し話せるようになりました。だから、私  
 たちは日本に住むことも勉強すること楽し  
 くなりました。  
 このようになつたのは先生がたの教文かた  
 がいいからです。先生がたは学生たちに日本  
 語をいっしようにけんめいに教文てくださいま  
 した。私たちは教室で会話も読みなかたも書き  
 かたも作文も習いました。先生がたは文法を  
 かんたんに教文でからくりか文して練習をさ  
 せました。新しい言葉の意味と文法をいく度  
 もいく度もせつめいしてくださいました。先  
 生がたは教室で日本語を教文ながら日本のし  
 ゅうかんもいりりなおもしろいことも教文  
 てくださいました。先生がたはいりりなれ  
 いをあげて私たちがわかるまでせつめいしま

した。だから、私たちはこのように日本語が  
 できるし、日本のようすや生活もわかるよう  
 になりました。  
 今私たちの日本語研修コースが終わる時  
 です。これからみんなは広島大学でわか  
 れて、いよいよな大学へ行きます。私  
 たちに日本語を親切に教  
 えてくださった先生がたにかん  
 じながらおわけのぞあいさつ  
 とします。

## 私の大家さん

オランダ、ハーグ

私達は、生活の中で時々特別な人に出会います。その人は、印象的だから、けっして忘れません。でも、どうしてそういう人に会うのでしょうか。偶然のことですか、運命ですか、神道の哲学によるとそれは神様の摂理にとるのだそうです。

日本へ来てから、いろいろ親切な人に出会いました。その中の一人が私の大家さんです。私の大家さんは、とても親切なので、今日、私は、大家さんのことを話したいです。

私の大家さんは、西さんと仰っしゃいます。西さんのご主人は亡くなったそうです。しかし、お子さんも三人あり、お孫さんもあります。そして、西さんのお母さんと大きな家に一緒に住んでいます。そのお母さんは、今九十二才ですが、大変元気です。私は、西さんのお母さんのことをお婆さんと呼んでいます。

初めて会った時西さんは、とてもいい人だ  
けど、取っ手かしそうに見えました。何故なら  
西さんは、余り物を言わなかつたし、何時も  
お辞儀ばかりしていたからです。後で、それ  
が日本文化の一部だと言うことが分かりまし  
た。

新しいアパートに引越した時、私はび  
くりしました。西さんは、家具を貸してくだ  
さいました。その家具の中には、机、冷蔵庫、  
ラジオ、掃除機、ヒーター、電気スタンド、  
椅子、食器、洗濯機、カーテンなどがありま  
した。その洗濯機は、良く働きましたか、古  
くて小さかつたから、一週間後で大家さんは  
新しい洗濯機を買って、私に貸してください  
ました。私は、西さんが親切なのでとてもび  
くりしましたが、大変ありがたかつたです。  
その時私は、日本語がまだ全然できません  
でしたから「ありがとう、ありがとう」とだ  
け言いました。でも、私には「ありがとう」  
だけで十分ではありませんでした。しかし、



西さんは、英語の先生です。それで英語で感謝しました。

私は一人で「どうして、ぼくは、日本へ来てこんなに親切にして貰っているのかなあ。」と考えました。ブラジルではそんなことは起りません。多分私はとてもラッキーなのだと思います。

この半年の間に広島で西さんとお婆さんの側に住んだことは本当に良かったです。時々御飯に招待して貰っています。初めの時は、晩御飯は西洋の御飯でした。私は、沢山食べました。その時西さんは、「あなたは、日本料理が好きですか。」と聞きました。「私は日本料理が大好きです。」と答えました。今度の御飯は立派な日本の御馳走でした。「あなたは、お箸で食べるのが上手ですね。」とお婆さんは言いました。私は食べすぎてしまいました。西さんの家族は、仏教の家族ですか。十二月の二十四日にはクリスマスの晩御飯を一緒に食べました。

西さんは、いろいろなことについて教えてくださっています。時々漢字も教えてくださいます。ある日偶然に和達はスーパーで会いました。その時に西さんは沢山教えてくださいました。どの食べ物がおいしいかとか、どの食べ物が料理がし易いかとか、どれが安いかなどです。

戦争のことを話したこともあります。その話は、とても印象的でした。昭和二十年八月六日に西さんとお婆さんと西さんのご主人のお父さんは家にいました。爆発の後でお婆さんは、西さんを助けて、川へ連れて行って上げました。西さんは頭に怪我をしました。家が焼けました。ご主人のお父さんは亡くなりました。本当に大変でしたね。でも、今はお二人とも丈夫です。お婆さんは、とても元気な人です。例えば、手鞆を作ることが好きです。お婆さんが作った手鞆は、素晴らしいです。

しかし、親切な人は、西さんだけを（はあり）

ません。私は、ホストファミリーや、私の先生方、そして私の友達にも大変親切にして貰いました。今、私のまわりは、良い人達ばかりです。でも、日本にも私の国ブラジルと同じように悪いこともあるだろうと思います。これから日本で生活しながら、日本の悪い所にも出会うかもしれません。それは、偶然でしょうか。神様の摂理でしょうか。しかしそれは、重要なことではありません。大切なことは、いつでも、どこでも、親切な人々を通して私達が学び続けて、成長して行くことだと思います。

西さん、皆様、本当にどうもありがとうございました。

日本での生活はおもしろいです

ロサリオ クティエレス

皆さん、おはようございます。わたしの名前  
前はロサリオです。十月の七日にスペインから  
まいりました。生まれたいなかは、オスナ  
です。スペインの南のほうにあります。

スペインの地理と日本はとてもちがいます。  
日本は山がたくさんあります。この山に木が  
たくさんあります。スペインではへりやと山  
は広さが同じです。たいてい山には木がすこ  
ししかありません。

十月の十四日から三月まで日本語を習って  
います。日本語研修コースはおもしろか、た  
です。日本語も日本のれきしも文学もならい  
ました。見学もありました。その中でカ計町  
とみやじまがいちばん楽しか、たです。

カ計町でたくさん日本語の練習をしました。  
ホストファミリーの家で日本の食べ物を食べ  
たり着物を着たりテレビでかぶきを見たりし  
て、いろいろなことを話しました。

加計町でむかしのさむらいの家を見ました。  
いけばなの説明を聞きました。りょうりも作  
りました。全部、新しいいけいけんでした。す  
ばらしか、たです。

先生かたは日本語をおしえていただき、あ  
りがとうございました。

日本人はとても親切です。日本の友だちの  
家へしようたりされて行った時におどろいた  
のは、「なにもありません」と言われたこと  
です。しかし、いろいろなたべものをいただき  
きました。

こまっっている人はよくたすけてもらいます。  
だから、問題はありません。

ごが月間いけばなとりょうりをならって  
ました。はじめ日本のりょうりのおじはおか  
しかったです。しかし、今は、さしみいかり  
は大すきです。

日本のげきはおもしろいそうです。だから  
しょうらい見たいと思います。けんちくのスタ  
イルもおもしろいです。古いたてものとまわ

りのけしきのバランスがいいです。

しゃかいの中で、日本のほうが外の国より  
れいぎただしいです。

日本人とせいよう人はものの考えかた、か  
んじかたがちがうことにわたくしは気づきま  
した。

これから医学のべんきようをします。専門  
はかんせんのめんえきかくです。い、しょう  
けんめいに勉強をしようと思います。

アニサキアス (ANISAKIASIS)  
のけんきゅうをします。アニサキアスという  
のはさかなにいるきせいちゅうのなまえです。  
わたしはそれをけんきゅうします。

いろいろなめんえきかくでまけんさの勉強  
をします。かんせんでめんえきかくでまけん  
さはじゅうようです。

このけんさは、きせいちゅうによるびょう  
きのしんだんにたいへんやくにたちます。

しょうらい、わたしはスペインできせいち  
ゅうかくとめんえきかくのも、ともずばらし

いかくしやのひとりになりたいです。

これから日本でベンキョウしてめんえきかくとませいちゅうかくについて、あたらしいことをたくさんするようになるとおもいます。それをきたいしております。

どうもありがとうございます。

## 日本とインドネシアの相違

ウミ

私は去年の十月にインドネシアから日本へ来ました。その時私は日本語がぜんぜん話せませんでした。

初めて私はスーパーへ行きましたが見本があるから日本では買い物をする時買いやすかったです。私の国では見本がありません。でも日本はわたしが高いですわえ。

日本とインドネシアは料理が違います。日本の料理は生の魚がたくさんあって、さしりと言います。私はインドネシアでさしりを食べたことがあります。インドネシアの料理には生の魚はぜんぜんありません。日本の料理のほうがインドネシアよりからくないです。インドネシアの料理はたくさんとうがらしを使います。

お風呂も日本とインドネシアでは違います。日本にはせんとうがありますか、インドネシアにはありません。私も行ったことがあります。



ります。私の家の近くにせんとうがあります。  
歩い<sup>て</sup>二<sup>分</sup>ぐらいしかかかりません。そこで  
私はせんとうへ行きました。初め私が<sup>取</sup>りか  
し<sup>が</sup>るのでせんとうにいた人がみんなわら  
いました。

日本とインドネシアはお正月の時も違  
ます。日本ではお正月の時に人は自分の生  
まれた所へ帰ります。たとえばいなかへ行っ  
たり、年<sup>が</sup>賀<sup>が</sup>び<sup>を</sup>う<sup>を</sup>送<sup>を</sup>たりします。女の人  
は着<sup>を</sup>物を<sup>を</sup>着<sup>を</sup>ます。お正月の特別な料理が  
ます。料理にはいろいろな意味があります。  
インドネシアではお正月の前<sup>の</sup>日、三十一日  
の夜十<sup>時</sup>に花火があります。人は家から  
出て、花火を見ます。インドネシアには日本  
のお正月に二<sup>に</sup>いるまつりがあります。レバ  
ランと言います。レバランはイスラム教<sup>の</sup>ま  
つりです。

日本では二月十四日はバレンタインデー  
です。その時女の子は男の子にチョコレート  
をあげます。インドネシアではわが女の子

がカードを<sup>を</sup>送ります。

きこうも日本とインドネシアでは違<sup>ちが</sup>います。日本では春、夏、秋、冬の四つの<sup>よつ</sup>きせつがあります。春は暖<sup>あたたか</sup>かくて夏は暑<sup>あつ</sup>くて秋は涼<sup>すず</sup>しくて冬は寒<sup>ひや</sup>いのです。秋の景<sup>けい</sup>色<sup>しき</sup>はきれいで、はっぱが赤<sup>あか</sup>くなります。もみじと言<sup>い</sup>います。秋には私は宮島とかつ山へ行<sup>い</sup>きました。もみじが<sup>もみじ</sup>とてもきれいで<sup>きれい</sup>でした。日本では冬と夏の気<sup>き</sup>温<sup>おん</sup>がたいへん違<sup>ちが</sup>います。冬の気<sup>き</sup>温<sup>おん</sup>はたいへん寒<sup>ひや</sup>くて、夏は暑<sup>あつ</sup>いのです。ざんねんなことに広島では今年<sup>ことし</sup>は一回<sup>いちど</sup>しか雪<sup>ゆき</sup>がふりませんでした。今<sup>いま</sup>私は春<sup>はる</sup>にさくら<sup>さくら</sup>の花<sup>はな</sup>がさくのをまっ<sup>ま</sup>ています。

インドネシアには雨<sup>あめ</sup>と乾<sup>かん</sup>の二つのきせつがあります。雨<sup>あめ</sup>は強<sup>つよ</sup>い雨が<sup>あめ</sup>ふって、気<sup>き</sup>温<sup>おん</sup>は二十<sup>にじゅう</sup>度<sup>ど</sup>くらい<sup>くらい</sup>いのです。乾<sup>かん</sup>は気<sup>き</sup>温<sup>おん</sup>が<sup>あつ</sup>高く<sup>あつ</sup>て、三十<sup>さんじゅう</sup>度<sup>ど</sup>くらい<sup>くらい</sup>になります。気<sup>き</sup>温<sup>おん</sup>はインドネシアでは一年<sup>いちねん</sup>中<sup>ちゆう</sup>高<sup>たか</sup>い<sup>たか</sup>い<sup>い</sup>のです。

日本には団<sup>だん</sup>地<sup>ち</sup>が<sup>おほ</sup>たくさん<sup>おほ</sup>あります。インドネシアでは小<sup>せう</sup>し<sup>し</sup>しか<sup>しか</sup>ありません、ジャカル

夕しかありません。インドネシアでは、つう  
の家には庭があります。日本の宅地はたいへ  
ん高いです。特に東京は宅地が一番高いです。  
もっとたくさん話したいですが、時間がた  
いのので、私の話しはこれで終わります。  
私は先生が「どうもありがとうございます」  
いしました。いろいろ勉強になりました。」と  
お礼を申しあげます。

日本で六か月生活して

シムフンザ フランス

六か月日本で生活をしてたのへんおもしろ  
かったです。去年十月六日に日本に着いた時  
に私はまた赤ちゃんと同じになりました。ば  
んじがたのへん違いました。私は日本語がぜ  
んぜんできなかつたし、たいていの日本人は英  
語ができませんでした。それで私の生活はみ  
じめな物でした。けれども言語の問題にもか  
かちらず日本人はずいぶん親切に私を助  
けてくれました。

六か月広島にいる間私は学生会館に住んで  
いました。日本は私の国と文化もふうどくし  
ゆかんもたのへん違います。さいしょ、りょう  
ではいるいなものがあまり好きではありま  
せんでしたがだんだんよくなりました。たと  
えば料理です。私の国とたのへん違います。  
しかし今は何でもおいしく食べています。  
さしみもおいしく食べるようになってしまし  
た。初めに私がびっくりしたのはたくさん

人がいっしょにおふろに入っているのを見た  
 時です。私の国ではそんなことはありません  
 かゝたいへんおかしかったです。国では一人  
 でシャワーをあびたりにゆうよくしたりしま  
 す。日本はおもしろいですね。

日本へ来て初めて日本語を習ったかゝる広大  
 の授業はとてもむずかしかったです。それで  
 時々私は日本語を習うのをやめたかと思いま  
 した。しかし先生はいっしょうけんめいに教  
 えてくださいました。先生は私にたびたび「  
 シムフンザさんがんばって、がんばってください  
 ね」とおっしゃいました。私は先生にはげま  
 していただきました。今私は日本語が少し上  
 手に話せるようになりました。たいへんうれ  
 しいです。

広島での六か月はとても楽しかったです。  
 私はいろいろな所へ行つて見ました。私が行  
 った所の中で一番きれいなのは宮島です。平  
 和公園やいろいろなきれいな所へも行きました。  
 私はもっといろいろな所の見物をしたか

ですが、私が歩いている時、たくさんの人が私を見たりします。それではすかしくなってしまう。子供たちは私を見るために走ってきます。子供たちは私に「ハロー　ハロー　ハロー　ユー　バイ　バイ」と言いました。その外にも私に「あの人は背が高いねえ」と言いました。たいへんおもしろいですね。けれども時には気持ちが悪くなってしまう。

広島で六か月楽しく生活してたくさんのお話を習いました。日本は国も平和だし人々もみんな親切です。

みな様のしあわせをいのっています。どうもありがとうございました。

## 日本語は面白いぞす

スリョ・ブツノ

私は1986年10月3日に日本に着きました。日本語は全然話せませんでした。日本に来た時は問題がたくさんありました。例えば、日本の料理は食べられませんでした。コミュニケーションもむずがしか、たごす。しかし今はなれときました。

日本語のコースは1986年10月14日に始ま、こ、かたかなやひらがなや漢字を勉強しました。日本語は、はなすこともだんだんできるようになりましたが、むずかしい言葉の発音は時々わかりません。日本語の練習をどこでもいっごもしたらりゅうちょうになるでしょう。

日本語はむずかしいぞすが、私は勉強が大好きで、いろいろな日本の習慣しゅうかんもわかるようになりました。日本の習慣とインドネシアの習慣はちよ、とちがうので、日本語の勉強はとても大切なことで、ためになります。

私は気持ちも日本にこきおうし、友だちもおおぜい作りしました。友だちから日本の習慣と日本語を教えるもらいました。

広島の人々は少ししか英語を話せませんが、話す時日本語を話さなければなりません。外国人のため、初めて広島へ来た時、とてもむづかしが、たごす。

日本語の文法のほうが英語の文法よりむづかしいが、発音はあこしやさしいです。私は時々話す時にんらんします。なぜならいつも英語の文法を考えこいるからです。

私は毎日テレビを見ながら辞書でわからぬ言葉もいっもしらべます。日本のテレビの番組はとても面白くて、その番組からたくさん新しい言葉を習、こいます。

日本の友だちが広島のほうげんを教えてくれました。そのほうげんは面白くて、友だちを作りやすくなります。

今日で日本語のコースも終わります。いろいろなけいけんと友だちを作、こ、広島大学



で日本語を勉強しました。日本語はとても面白  
いと思います。

## さしみとカレー

デスクパクル。ワンペン

「さしみ」と言えばタイ人はすぐ日本の料理だとわかります。日本人はさしみがとても好きだからです。それでは、タイの代表的な料理は何でしょう。普通のタイ人のあいさつの言葉の一つに「今日はどんなカレーを食べましたか。」というのがあります。タイ人のおもな食事はカレーなのです。

多くのタイ人は「どうして日本人はたまものが好きなのですか。」と質問します。同じように日本人は「そんなにからいカレーを食べるとタイ人の口やお腹はもえるのではないだろうか。」と心配するかもしれません。

もし同じ台所に日本人のコックとタイ人のコックが一緒にいれば、問題がおこるでしょう。さしみを作ればタイ人が食べられないし、タイ式のカレーを作れば日本人が食べられないからです。どうしたら一緒に楽しく食事をすることができのでしょうか。

私はこれからタイ人と日本人の生活の習慣  
に関係がある表現について話したいと思いま  
す。

日本には私達タイ人にあまりよくわからな  
い習慣がいろいろあります。日本人は「この  
あいだはどうもありがとうございました。」と  
すぎたことに感謝をします。こういう言葉も  
何回も言う習慣はタイ人にはあまりよくわか  
りません。タイ人は他の人に何かしてあげて  
もたびたびお礼を言ってもらわなければなら  
ないと思っ  
ていません。しかし日本人の方か  
ら見たらタイ人は人にお礼をすることを知ら  
ないと言うでし  
ょう。そ  
うでは  
ありません。  
私達もよい機会があればおくりものなどをし  
てお礼をします。

日本人は「ありがとう」とか「すみません」  
と言う言葉をよく使います。これは日本の大  
切な習慣です。悪いことをした時はまず「ご  
めんなさい」とか「すみません」とか言わなけ  
ればな  
りません。そしてあとでわけを説明し

ます。この習慣は大変いいと思います。

タイ人の場合、悪いことをした時、わけを先に説明するのが大切なことなのです。「ごめんなさい」とか「すみません」とか言う言葉はその悪いことをした理由ほど大切ではありません。

こういう細かいことは日本人とタイ人の間でわかりにくいだらうと思います。実際こんな例があります。

日本にいるあるタイ人が朝寝坊をして、約束した時間におくましました。この人は「ごめんなさい」と言うかわりに「タバおそくまで起きていたのでちょっと朝寝坊をしてしまいました。」と言いました。それを聞いて日本人はちょっとふきげんになりました。

私はタイ人も日本人も心は同じだと思います。しかし表現の仕方が違うのです。こういうことは言葉の問題からおこります。注意しないといけない、おたがいにわかりにくいと思います。このような細かい習慣の違いを理解しあわ

なければおたがいの気持ちの中に偏見がおこ  
って来ます。その偏見をなくすように、どの  
国の人でもおたがいの国の習慣をそんけいし  
あっておたがいに理解しあわなければならな  
いと思います。

あなたは「さしみ」を食べますか。「カレ  
ー」を食べますか。それとも「さしみ」に「カ  
レー」をかけて食べますか。それはおいしく  
ないでしょうね。どう食べたら、おいしいで  
しょうか。あなたも新しいメニューを作って  
見ませんか。

日本人と自然

「日本に来る前、あるいは日本について何か勉強する前に、あなたは、日本とはどんな国だと思っていましたか。私は、最初に、この質問に答えることはたいへんむずかしいと思いました。しかし、今は「日本は、神秘的で、独特のものをもった西洋諸大国になるにつれて、世界中の人たちの目を集めるようになりました。そこで、問題は、日本がよその国とそんなにちがうのは、なぜかと言うことになると思います。日本人がその自然に対して、また人間に対して、調和のとれた接しかたをすることであると思います。日本人は、ビルやにわを作る時、また食べ物を作る時でさえ、自然を保とうとします。日本人の調和のとれた関係の一例として、「以身伝心」(Shinzen) という言葉を

(A) レイナ・レディ

考えてみて下さい。日本人は多くの場合、言葉を出さなくても、お互いに理解しあうので  
 す。例えば、わたしがコーヒを買に行こうとした時のことです。わたしがコートを着て、出かけようとしているところへ大家さんが来ました。「コーヒを持って来ました」と言いました。このように日本人は、お互いの気持がわかるのです。そこが西人と日本人のちがいだと、私は思います。

西洋人が自分の意見を率直に表現して、日本人は他人の意見や感情を十分に確かめてから、自分の意見を言います。それに、お互いのよい関係をこわしたくないので「イエスとノーをはっきりいわない習慣があります。」

私が日本に関心があるのは、「日本式経営」から学ぼうと考えているからです。「日本式経営」を十分に理解するためには、それをささえている社会的文化的背景がよくわからなければなりません。

「円のぼる国」には、おどろくべきものが  
たくさんあり、これまでに、わたくしは自分  
の発見に満足しているのです。



海洋学を勉強するために日本にいます

アズミ、ラーマン

私は、アズミ、ラーマンです。マレーシアから来た公務員です。1979年にイギリスの大学を卒業しました。マレーシアでは測量技師の ASSISTANT DIRECTOR をしています。そして今は、海洋学を勉強するために日本にきています。

1979年にイギリスの NORTH EAST LONDON POLYTECHNIC を卒業して、マレーシアに帰り、測量技師として、事務所<sup>じむしょ</sup>に配属<sup>はいじゆ</sup>されました。

1982年7月からは、クアラルンプール<sup>クアラルンプール</sup>で DEPARTMENT OF SURVEY AND MAPPING MALAYSIA HEADQUARTERS に移りました。そして、測地学の部門<sup>ぶくもん</sup>をまかされました。この部門<sup>ぶくもん</sup>は4つのパートに分かれていてその下に約30人が仕事をしています。

その一つは、潮流<sup>かうりゅう</sup>を観測<sup>かんそく</sup>する部門<sup>ぶくもん</sup>でとても大切な部分<sup>たいせつなぶぶん</sup>になってきました。そして、マレ

一 シ ア の 公 的 な 部 門 と し て も と て も 大 切 で す 。  
 ね ぜ なら 潮 流 の 観 測 は 、 潮 面 と 海 の 性 格 の 資  
 料 を つ か ぶ こ と が も っ と も 大 切 だ か ら で す 。  
 こ の 潮 面 は 測 量 技 師 が ほ し い の で は な く、  
 そ れ ら の 生 活 に た よ っ て い る 誰 も が 必 要 な の  
 で す 。 特 に 漁 師 の 乗 員 は も ち ろ ん 工 学 報  
 者 建 築 家 そ の 他 の 色 々 の 人 々 が 潮 の 情  
 を 必 要 と し て い ま す 。  
 港 や 道 や 橋 や 高 い ビ ル な ど を 作 る た め に 必  
 要 だ し そ し て 国 の 開 発 を 助 け る か ら で す 。  
 こ の 潮 流 観 測 の プ ロ ジ ェ ク ト は ま だ 新 し く て、  
 マ レ シ ア に は そ の 技 術 者 が い ま せ ン 。  
 1981年、マレーシアの政府から日本政府に  
 お 願 い し て 、 そ の 年 の 8 月 か ら 日 本 政 府 に 協 力 事 業  
 団 が ス ポ ン サ ー に な り 、 最 初 の 専 門 家 が 海 上  
 保 安 庁 か ら マ レ シ ア へ 来 ま し た 。 そ の か た  
 は 二 年 ぐ ら い 研 究 を し ま し た 。  
 1983年10月に次のかたがマレーシアへ来  
 し た 。 私 は 、 そ の か た と い っ し ょ に 潮 流 の 観 見  
 測 所 を 作 り ま し た 。 こ う し て プ ロ ジ ェ ク ト は

スタートしました。それから私は海洋学を勉強することが好きになりました。それで、日本でも勉強したいと思いい文部省にお願いしました。

1985年一月から二月まで東京で勉強しました。それからもう一度東京へ来てセミナーでマレーシアの潮流観測のことを発表しました。それで私は今回で二度日本に来たことになりました。私はとても幸せです。なぜなら、文部省から奨学金があり、好きな勉強ができるからです。

広島大学では6か月日本語を勉強することになりました。そして、先生がたには、とても感謝してあります。日本語を教えていたたいて話すことができました。どうも、お手数をかけしました。これからも、よろしくお願いいたします。

## 私の専門、医学の研究

エイルメラ・ホイティンガ

私は去年の八月ユトレヒトのじゅう医科大  
学を卒業しました。勉強をしながら医学の研  
究をすることはおもしろいと思いました。医  
学の研究の箇さい的<sup>てき</sup>なけいけんをした<sup>ら</sup>から、  
もんぶ<sup>り</sup>しょうのしょう学金におう<sup>せ</sup>しました。  
そして、日本に来て六か月たちました。来月  
はしまね医科大学へ行きます。これから出雲  
で医学の研究を始めます。私の指導<sup>しどう</sup>教員<sup>きょういん</sup>やも  
り教授の研究グループはヨーロッパとアメリ  
カで有名です。

オランダで卒業する前に私は130の専門の論  
文<sup>ぶん</sup>を読んで、私の論文を書きました。この論  
文の題はねずみの動脈硬化でした。動脈硬化  
は人間の病気で、血管の中にしぼうがたまっ  
て、それが脳<sup>の</sup>出血<sup>しゅつちけつ</sup>とい臓<sup>の</sup>麻痺<sup>まひ</sup>の原因となりま  
す。私はねずみを使って、人間の病気を研究  
します。

出雲での私の研究も動脈硬化です。動脈硬

化は西洋の国で人間のしぼうの<sup>おと</sup>主な原因です。心臓の血管の動脈硬化は心臓麻痺をおこし、脳の血管の動脈硬化は、脳出血をおこします。この病気のりつは西洋でもそれぞれ違っています。心臓麻痺は西ヨーロッパとアメリカの方が日本より多いです。しかし、脳出血は日本の方が西ヨーロッパとアメリカより多いです。動脈硬化は年取った時もっと悪くなります。心臓の血管の動脈硬化は男の人の方が女の人よりもっと多いです。アメリカの55さいから59さいの男の人では、心臓麻痺のりつは一番高いです。

動脈硬化がふえる、いっぱん<sup>おと</sup>的なりゆうが三つあります。一番目は食物のしゅうがん、二番目は高血圧、三番目はたばこをすうことです。

まず食物のしゅうがんです。心臓麻痺がふえるのはカロリーのとりすぎや動物のしぼうやたまごやコレステロールなどを食べるからです。食物のしゅうがんのえいきょうの方が

遺伝子のえいさより大きいです。だから、日本人はアメリカに住む方が日本より心臓麻痺のりつは高いです。

次に高血圧です。高血圧は心臓麻痺と脳出血のりつをふえさせます。日本の脳出血の原因は、たぶん、しおです。しおは高血圧をふえさせます。年取った時、体動がふえる時、ストレスが多い時、高血圧がふえます。

三番目は、たばこをすうことです。たばこをすうことは心臓麻痺と脳出血のりつをふえさせます。

研究所で動物を使って、医学の研究をする人は病気の原因と病気をなおすための薬をみつめようとしています。しょうらい、私はこの研究にこうけんしたいと思っています。

日本での小さなけいけん

わたしはエドゥガールです。グッテマラからきました。わたしの国はちゆうおうアメリカにあります。わたしのせんもんは医学です。さくねんの十月から、かげつかん広島大学で日本語のべんきょうをしました。そのあとしまねいかたがくでせんもんのべんきょうをするよていです。

きょうの<sup>しゅうりゃくしき</sup>修了式でわたしの日本での小さなけいけんについて話したいと思います。しかしわたしは日本ごがじょうずではありません。日本ごはたいへんむずかしいです。

しんかんせん：グッテマラでもわたしはしんかんせんのせいかくさとはやさをよくしていました。ですから、わたしはそれをじぶんのめりてみかけたのです。わたしは千九百八十六年十月七日に東京へきました。よくじつわたしはしんかんせんが東京から広島まできました。たいへんおもしろかったです。たしかにせいかくではやかったです。東京駅で

はたくさんの方がおるいていました。グッテマラはちょっとちがいます。グッテマラ駅ではあまり人はおるきません。しんかんせんの中はたくさんのおしらせがきこえます。わたしはせんせんわかりませんでしたでしたが、あとでえいごのほんやくがありましたので、それはつぎの駅のおしらせだったとわかりました。

たべもの：日本ではこのごはんとさかなをたくさんたべます。グッテマラとはたいへんちがうのです。ごはんとさかなをあまりたべません。わたしが日本のたべものはいちはんすきなのはさしみです。

にわ：日本のにわのうつくしき木のみどりいろはみごとで、しずかなきもちになり、こころがおちつきます。なかでもまつの木はうつくしく、日本のにわをだいひょうする木だといえます。

さいごに広島大学のせんせいがた、そして大学のともだちにおれいをもうしあげたいと思います。どうもありがとうございました。



今までのけいけん  
 スイタイ・ハワ  
 日本へ行くのは前からの私のゆめでした。  
 マレーシアでは三年前から "Look East Policy" と  
 言う、政府のプログラムが行なわれています。  
 しかし、私はこのプログラムの前からずっと  
 日本へ行きなかつたのです。そしてこのプロ  
 グラムが行なわれて私はずっと行きたく  
 くなりました。きよ年の二月に日本のもんぶ  
 しよりの試験を受けれて、そしてこうかくし  
 しました。  
 その時は何も言えないほどうれしかった  
 です。きよ年の十月に日本へやるとまいりま  
 した。私は日本人の生活や文化などにふか  
 きようみを持っていきます。これについてこれ  
 から話しにしたいと思います。  
 はじめは日本のがんとているちから、と  
 くに日本人のはたらきかたはほんとにすこ  
 と思います。例えば、広島は40年間の問  
 だけんばくをうけた町から、日本の一つの

\*

きんたいてきほとしに行りました。  
 私か日本をえらんだのは、日本の行政や政  
 策などへんきようしたいからです。日本の  
 政府はどういうふうに日本の経済やせいじを  
 行なうのか、これをしりたい、まには研  
 究したいです。そして日本の「City Service」につ  
 いてるんぶんを書きたいと思います。これに  
 たいしてマレシアの政府もまねばなれば  
 ならないと思います。例えば、日本の政府の  
 国家公教員試験です。政府の役人になるため  
 にきびしい試験にこうかくしなければなりません。  
 これは政府の良いい役人になるため役に立  
 つにちがいありません。日本にすんぶみて、私が気づいたのは、日本  
 人は外国人と仲良くするのかなかなかなかずか  
 しい。また、時間もかかります。ですけれど  
 も、もし外国人がさきに声をかけたら日本人  
 はとても親切でやさしいと思います。  
 いろいろなことも教えてください。私には

いい先生、そしていい友だちがいます。私に  
 は広島「YWCA」のおかげで、親切な、ホストフア  
 ミリーがいます。私がこまった時、病気の時、  
 私の家へたずねてきました。  
 私は日本へ来る前、二つの言葉しかでさま  
 せんでした。「さようなら」と「ありがとう」  
 です。今いろいろ話せるようになりました。  
 これは生々がたのおかげです。どうもありが  
 とうございました。

マレーシアで聞いたことと日本で  
見たこと。

ナジール

みなさん、お早うございます。

私は「日本」という言葉を子供の時から知  
っていました。マレーシアでは家を出る時、  
いつも日本のスリッパを使います。日本の「  
げた」と同じような形です。しかしほんとう  
はマレーシアのせわひんです。

小学生の時代、地理学の授業の時、日本の  
地図をいつも見ました。日本は地図の中で中  
国と近いです。だから、日本人の顔は中国人  
の顔と同じなのだと思います。

日本では火山がたくさんあると先生が言  
いました。しかし、私は火山を見たことがあり  
ません。先生は火山のかたちを黒板に書いて  
くれました。

私のおじいさんによると日本のぐんじんが  
だいにじせかいせんそうの時マレーシアへ来  
たそうです。日本ぐんじんはマレーシアに3

年8か月住んでみました。

マレーシアの新聞には日本人はよく働くとい  
く書いてあります。だから日本ははってんし  
た国になったのだと思います。

私は日本に来て、日本語を6か月勉強しま  
した。四月からは、広島大学で研究生にた  
ります。

日本に住んで、いろいろなことを見ました。

(1) 道には車がたくさん走っています。95%が  
日本の車です。マレーシアでは、マレーシア  
の車は5%ぐらいしか走っていません。でも  
日本の車は70%も走っています。

(2) 日本でどこかへ行く時は、いつも電車とし  
んかんせんに乗ります。マレーシアは、しん  
かんせんはないし、電車もあまり使いません。

(3) 日本はあんなに国だと思えます。どろぼ  
うも少ないし、交通事故も少ないし、ぞうや  
レトラヤコブウのようない動物も少ない  
です。たぶんおばけも少ないと思えます。

(4) 日本人の70%は会社員です。だから、日本

のけいぎいも会社と強い関係があります。

日本人は日本のしゅうかんをよく守っています。これは日本のシンボルだからだと思います。

めぐいごに言いたいのは日本に住んでいる人々の99%が日本人です。どこへ行っても日本人のばかりです。同じような顔ばかり見えます。たぶん、かんじ方も考え方も同じでしょう。これは日本のよいところです。私の国ではいるいる外国人だけがいっしょに住んでいます。いるいると違ったらかんじ方やかんがえ方がありません。でも、私の国にもよいことがたくさんあります。どうしたらいるいる外国人のかんじ方やかんがえ方をまとめることができるでしょうか。私はこれからそれを勉強するつもりです。